

岐阜県経済の現状のポイント（平成 26 年 9 月分）

【景況感】

景気回復に足踏み感が見られる。

【製造業】生産、売上は、輸送用機械関連を中心に好調を維持

○製造業全体では輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持している。

【地場産業】一部の業種を除いて厳しい状況が続いている

○消費増税前の駆け込みで好調だった木工も生産が落ち着きつつあり、他の業種については依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

【個人消費】消費増税に伴う駆け込み需要の反動減は和らいでいる

○売上、客数ともに、前年と同等の水準まで回復している小売店も見受けられ、消費増税前の駆け込み需要の反動減は和らいでいる。衣料品は夏物から秋物へ移行し、出足は好調である。

【観光】インバウンドは引き続き好調

○施設によってバラつきはあるものの、総宿泊客数は前年をやや下回った。インバウンドは、季節的に少ない時期であるが、対前年で上回っており、好調を維持している。観光客数は、天候不順が屋外の施設や行事に影響し、前年をやや下回った。

【雇用】業種全般において人手不足が発生している

○製造業のみならず幅広い業種において、人材の確保に努める企業が多数見受けられるが、求職者は職種や条件を吟味する傾向にあり、人手不足が発生している。

【設備投資】投資実績は増加傾向も、投資意欲には一服感が見られる

○投資実績は増加傾向にあるが、設備投資の目的のうち、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資は減少し、「補修・更新」が増加。設備投資意欲は2期連続で減少した。

【資金繰り】資金繰りは改善傾向

○新規融資実績は減少傾向にあるが、借入難易度は緩やかながらも着実に改善している。